

# 常陸大宮市

# 誕生1周年!!



常陸大宮市長  
矢数 浩

「常陸大宮市」が誕生して早1年。振り返りますと、あつという間の1年という感じがいたします。

この間、初代市長として市政を担ってまいりましたが、市民の皆様をはじめ多くの方々からご指導、ご支援を賜りました。あらためて衷心より感謝申し上げます。

おかげさまで、長年の懸案であり合併の最重要事業でもあった地域中核病院の整備については、名称も「常陸大宮済生会病院」と決定し、平成18年度の早期に開院できるよう現在順調に工事が進められているところ です。

さらに、市内循環交通システムについても、早期運行を

開始したいと、現在準備を進めているところでございます。これにより、市内移動の利便性向上が図られればと期待しているところです。

今年3月には、市民の皆様のご協力により市章を制定いたしました。旧町村の意識も少しずつ薄れ「常陸大宮市」という名称も予想以上に早く浸透しているような気がいたします。

地方分権と呼ばれ既に相当の年数が経過いたします。この平成の大合併により、来年3月の県内市町村の数は、合併特例法施行時に比較して約半数に減少する見込みです。

この市町村合併と合わせ、国庫補助負担金の廃止・縮減、これに伴う税源移譲、地方交付税の見直し等、いわゆる三位一体の改革が進められておりますが、この改革により、地方の裁量度を大きくする本格的な地方分権型社会を迎えようとしています。

合併により行財政基盤等の強化を図ったとは言っても、常陸大宮市のまちづくりはよくやく緒についたばかり。過疎や少子高齢化、地域産業の活性化などまだまだ課題は山積しております。

これまでは合併間もないということもあり、基本的には各地域の事業を引き継いだ形でのまちづくりを行ってまいりましたが、今後は地域の特性をさらに伸ばし、最大限に活用し、市民の皆様と手を携えてより良いまちづくりを行ってまいりたいと考えております。

また、皆様が合併して良かったと実感して頂けるまちづくりを努めてまいりる所存でございますので皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



常陸大宮市議会議長  
大貫 孝夫

昨年10月16日に「常陸大宮市」が誕生して1年が経過いたします。この間、市民の皆様には市議会の活動に対しまして温かいご理解を賜り心から感謝を申し上げます。

今回の平成の大合併により県内でも各地で新市・新町が誕生していますが、今後地方分権の流れはさらに進み、全国一律から自立や個性が求められる、まさに自治体の能力が問われる時代になってまいります。この度の合併は、過疎や少子高齢化への対応、産業基盤の強化等の共通課題の解決もさることながら、このような地方分権型社会に対応できる行政組織を構築するためになされたものでございます。

合併後は、それぞれの地域の特性を活かした事業が行われ、また地域中核病院の整備等大きなプロジェクトも進められ、ある程度まちづくりの成果も見えてまいりましたが、今後は、市民と一体となつて新たな時代に対応したまちづくりを進めていくことが重要ではないかと思ひます。

また、より良いまちづくりを進めるためには、さらには皆が心をつなぐことが大切ではないかと考えます。

市議会といたしまして、今後さらに市当局との連携を深めながら市発展のために尽力してまいりる所存でございます。どうか、市民の皆様におかれましては、市政の円滑な推進につきまして格別のご協力をお願い申し上げます。

～1年を振り返って…～

## 市民インタビュー あなたの思い聴かせてください

10月16日で1歳の誕生日を迎える常陸大宮市。市民の皆さんに、合併1年を迎えての感想や意見などを聞いてみました。突然のお願いに快く引き受けてくださった皆さん、ありがとうございました。

また、たくさんお話ししていただいたのですが、全てを掲載できなかったことをこの場を借りてお詫びします。



合併して間もなく、私たちグループで支所巡りをしたんですが、行ってみてここまで常陸大宮市になったんだ、広いなぁと感じましたね。今まで大宮にいて山間地域だと思ったことはないんですが、あの山々を見ると自然は素晴らしいと思いつつも、いかにこの山間地域を活性化するか。

そして、この自然を守りながら森林をいかに活用するかが課題だなとつくづく思いました。

各地域でいろいろな素晴らしい催しがありますが、合併してそういった催しのご案内をいただくと市になったのだから行ってみようかしらという気になりますし、研修等の場が広がったというか、機会が多くなって良かったと思いますね。

常陸大宮市も人口が減少しています。何とか少子高齢化に歯止めをかけていかなければと思います。私たち女性会も少子化対策として月1回集まって対策を練っていますが、市にはもっと少子化や定住対策に力を入れてほしいですね。例えば山間地域に行ってみたくするような、ちょっとすてきな公園なんかを造るとかね。

すてきな施設があって、自然もあるなら住んでも良いわと思われようような市になってほしいですね。

(女性団体連絡会長 中崎 孝子さん)

合併して変わったという気はあまりしませんでした。6月に陸上記録会を笠松運動公園でやった時に、市内の19校の生徒が集まりすごく盛大で、市になったなぁと感じました。

合併して不便に感じたことは特にありませんが、きれいな校舎で勉強がしたいです。

常陸大宮市で気に入ってるのは三太の湯。よく入りに行きます。だから、市にはこれから「常陸大宮市と言えば『温泉のまち』』と言われるような、有名な市になってほしいです。

(山方小6年 人見 彰さん)



常陸大宮市は、この雄大な自然はもちろん、5町村合併したので、5つの特産物があることがすごいと思います。こういうところはあまり無いんじゃないかな。

市になって部活などで他の中学の人と会っても親しみやすくなったので、それは良かったと思います。ただ、市の名前があまりよく知られていないみたいで、位置が分かってもらえなかったり、常陸太田市とよく間違えられるのが不便だなぁと思います。

市には、賑やかなまちになってほしいと同時に、静かなところもあって欲しい。2つがうまく共存したまちになってほしいです。

また、緑が豊かだけど、杉とか針葉樹だけでなく広葉樹も増やしたほうがいいと思う。広葉樹なら、落ち葉で土壌が豊かになって、それによってその他の生き物も元気に育つようになる。

この市には、何年経っても美しい、今よりも素晴らしいまちになってほしいです。

(美和中3年 川崎 貴司さん)



合併して、たくさんの人と触れ合えるようになって、いっぱい友だちができるようになって良かったと思います。

特に、北海道への「ふれあいの船」に参加

できるようになったので、たくさんの友だちができてとても楽しかったです。

それに、「町」だったときは、「市」に負けているようで少し恥ずかしかったけど、「市」になったことで堂々と胸を張っていられるのがうれしいです。

これから常陸大宮市には、みんな仲良く、ふれ合いがたっぷりの市になってほしいと思う。

あとは、みんなで運動のできる施設や、遊べる公園などを作ってほしいです。

(大宮小6年 齋藤 将斗さん)

合併前はいろんな困難があったけど、合併したら穏やかに自然な形で日々過ぎて、あっという間に1年たった気がします。良いとか悪い



とかではなく、違和感なく過ごせていると思いますよ。

この市には県内で数限られる川がいくつも流れて、きれいな景色を静かに満喫できる環境があります。そういった環境面が素晴らしいので、それに見合ったように文化面がさらに発展していけば良いなあと思います。極端にどこかをではなく、どの地域にも平等に財源を充てて少しずつ発展して行ってほしいと思います。

現在、議員さんは75人いるようですが、それほど必要なのかという気がします。在任特例は2年間あるけど、他の自治体では、財政難のために、定数を減らそうと議会から自発的にやっていったところもあるようですし、合併当初は各地域の声を反映させるために、という事も理解はできますが、議員さんから自発的に声をあげて期間を短縮して、浮いた費用を行政当局が有効に活用するようにしたら、市民の見目が違うと思いますね。議員さん達が、いつそのことに気付くのかと楽しみにしているんですよ。

(野口 石川 皓一さん 農業)

大宮地域の会社に長く勤めていますので、合併してもあまり違和感はありませんでしたが、市の広報誌を見ると、私の住む美和以外の地域のいろいろな行事も載っていて、それを見て合併したんだなあと感じましたね。



合併して他地域で実施していた良いサービスを受けられるようになったり、施設を利用できるようになってうれしく思います。ただ、不便だと思うのは、何か新しいことをはじめようとしても決裁は本庁でと、ワンクッション置く感じで時間がかかってしまう気がします。

この合併は、対等合併とはいっても、大宮町に吸収されたように感じている人も多いと思うんですね。ですから、やはり福祉面はもちろんのこと、すべての施策が均等に行われ、そして、みんなが常陸大宮市になって良かったと思うようなまちづくりをお願いしたいですね。

(美和保育所保護者会長 田沢 佳子さん)

町の時から市へと、あまり大きな変化はなく、そのままの状態です。ただ、いろんな行事に参加できたりとか、他の地域の人との交流が増えたので、その点は合併して良かったなあと思います。

僕としては、もうすぐ大きな病院もできるし、それでも良い状態なんじゃないかと思っていますので、これ以上はあまり望むことはないです。

ただ、今、高齢化社会と言われて、常陸大宮市には若い人がいないイメージがあるし、実際、たくさんの方が県外に出て行ってしまっています。ですから、そういった人たちが出て行かない、もしくは出て行ってしまった人も戻って来なくなるような市になっていければなあと思います。



(盛金 鈴木 一敏さん 県職員)





私は、常陸大宮市で自慢なのは、大宮西小学校にある「わんぱく山」というところです。

校庭の脇の、斜面を利用した所にいろんな遊

具がたくさんあって、休み時間とか放課後とかにいつもみんなで遊んでいます。

その他にも、図書情報館が気に入っています。本を借りたりインターネットをしによく行きます。

市になって広がったけど移動する方法が私たちにはあまり無いので、市内を無料で乗り降りできるバスがあると、いろんな所に遊びに簡単に行けるので、そういうバスをつくってほしいです。

(大宮西小6年 吉成 ひかるさん)



市内では、テレビや映画のロケ地となって撮影が良く行われているんです。そういうところから、何かを発信できるまちになるといいんじゃないかと思えますね。

合併して、いろんな行事が、補助が無くなってできなくなってしまうものがあるんです

が、それはとても残念ですね。ただ、小さかった時は目が行き届いていたけど、大きくなって難しくなるのは仕方ないと思うんです。足りない所はボランティアなんかで補っていければ良いと思いますし。長い目で見て、合併して良かったと思えれば良いと思うんです。

私は、学童保育をボランティアでちょっとやっていたんですが、幼児期の援助はあっても、その上のフォローが意外とないんですよ。住宅を建てて若い人が来ても、子どもの面倒を見られなくて仕事を辞めたり、出て行ってしまう人もいますから。まちを活性化させるのには、何より「人」だと思います。子どもを安心して生み、育てられる環境が整えられると良いなと思います。

(諸沢 相沢 洋子さん 主婦)

市内には、工業団地やその中にある体育施設、ロゼホールなどの施設があってとても素晴らしいと思います。ロゼホールなんかは、合併前は他町の施設だからと何か入りづらい気がしていたけど、同じ市になって気持ちよく入れるようになって良かったと思っています。

1年経って、町村の区別がなくなって大きな市の中にいるという気持ちになっています。大宮に出かけても、自分の区域内を歩いているんだという気がします。市自体の雰囲気も変わってきていると思うし、市外の人も、市になって見る目が違ってきていると思いますね。

過疎の村だと先(将来)が狭まった気持ちになっていたけど、合併して先が、目の前が広がった気がします。

これから、この市には、教育に一番力を入れ、子どもたちがのびのびと、喜んで勉強したり、遊んでいる姿が見られるまちになってほしいと願っています。



(上小瀬 矢野 正紀さん 農業)



この市は自然が豊かでそれが自慢です。小さい頃からここに住んでいて、当たり前のように感じていたんだけど、かけがえ

のないもので、私たちが壊さないように守っていかなくちゃならないなと思います。

合併して、部活でできた他中学の友だちと成人式が一緒にできるので、5年後がすごく楽しみにになりました。

市内には伝統的なものや歴史が深いものがたくさんあるので、そういった文化や行事などを残しつつ、交通の便を良くしたり、年齢に関係なく住みやすいまちになってほしいです。

また、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいってほしいです。一中でも、クリーン作戦や古切手を集めたりといろいろ取り組んでいます。ひとりひとりができることを、少しずつやっていけるように市も後押ししてほしいと思います。

(大宮一中3年 廣木 愛さん)

市内には歴史的な施設や、大きなイベントができる文化的な施設が充実していることが自慢ですね。特に図書館は、資料も豊富だし、いろんな催しもしていてすごいいいと思います。



合併しても、不便さは別に感じないです。出てくるとしてもあと30年後ぐらいに感じるんじゃないかなあと思いますが。

私としては、この市はもう十分便利だと思うので、自然を大事にしてこの状態のままで開発しすぎないで欲しいです。

ただ、鷹巣には市民プールがあるけど、屋外で冬は使えなくてもったいないので、西部総合公園に移して屋内プールにして、冬はスケート場にすれば無駄がなくて良いんじゃないかと思っています。それと、合併して各地域にある施設を利用したい人がいっぱいいると思うので、施設を回るバスとかをつくと良いと思います。

最後に、小さな楽しいことがあれば十分だと思うから、職員の人も頑張るすぎないで、楽しく仕事をしてほしいと思います。

(大宮中3年 高岡 梨さん)



私の住んでいる鷺子地区で言えば、古くは水戸光圀(黄門)との縁が深いからね。何度もこの地に来て、紙役人岡山次郎左衛門宅に泊まっていますね。それと鷺子祇園祭だなあ。これは、栃木と茨城両県にまたがっている鷺子山上神社の祭り。

あとね、高級和紙の代名詞鳥ノ子紙、伝統的な鷺子彫り。今でも伝えている人がいるんですよ。そういった伝統はしっかり残しておきたいですね。特に鷺子和紙は水戸藩の財政を支えたことで知られています。鷺子のことを地元のお年寄り「とんによこ」と呼んで慕っているんですよ。

合併して特別変わったと言う気はしないです。不便さも別に感じていないです。ただ、新しい病院や、巡回バスに対してはみんなとても期待していますよ。

これからは、何より人口減少をくい止めないといけないと思うんです。全ての問題は人口からだと思えますから。人口を増やす施策を取って欲しいです。ただ、市の施策もキャッチフレーズは格好良いことってるけど、具体的な内容を示して欲しいと思いますね。

すべてトリノコサレナイヨウにね。

(鷺子 初原 智明さん 自治会長)

合併して環境的には変わらないけど、心情的には市民としての責任を感じるね。また、御前山がなくなった寂しさや郷愁を感じるかな。



常陸大宮市は、市といってもまだまだ山あり川あり素晴らしい自然環境だよ。こういうものを活用しながら人口増加があって、少子高齢化に歯止めがかかればなあというのが一番の願いだね。

巡回バスなんかについては、非常に重要だと思うねえ。若い人たちは自分の車で買い物とか遠いところにも出かけられるからね。でも、高齢者の場合は、医療機関とかは既存のバスを利用しているけど、何しろ本数が少ないでしょう。大宮地域とかへ買い物となると足がないのでね。高齢者クラブのみんなとも、何とかならんかなあと言ってるんだよ。

(常陸大宮市高齢者クラブ連合会

御前山クラブ会長 渡辺 英男さん)

自然が豊かで人情味にあふれているところがこの市の良さだと思います。合併してからボランティア活動で全体で集まったときなども、よそ者という感じではなく、同じ市民なんだって感じで何となく親しみやすかったですよ。和気あいあいとしていて、そういった雰囲気が良いですよ。

だから、これからも住みよいあたたかいまちづくりをしていきたいですね。行政の方にも心が通い合える、行政に親しみが持てるようになればいいと思います。

合併したら、地域の要望は何も聞いてもらえないんじゃないか、なんていう不安がありました。区長を通して筋道たてて要望し、事業を認めていただき、特に環境整備を図ってほしいです。



(山方ボランティア連絡協議会長

尾木 よねさん)



この市では、農家の方たちの働く姿は誇るべきものだと思いますね。

合併して、市ということは何となく誇らしいし、同じ市内の

人ということで、他地域の人でも、とても身近に感じるようになって良かったと思いますね。

あとは、市内に屋内の温水プールでもできたらいいなあと思います。今私たちぐらいの年代の人に水泳はとても人気がありますからね。何をすることも健康が一番ですから。

これからは、将来を左右する子どもたちへの教育の充実が大事だと思います。それと税金対策ですね。みんな心配していますから。

これからずっと孫子の代まで健康で、みんな仲良く安心して暮らせるまちであってほしいです。

(三美 中山 さち子さん 美容師)

合併して、広報誌の名前も変わり、今までは内容が御前山のことばかりだったのが、御前山の話が少なくなったので、合併したんだと感じ、少し淋しい気がします。でも、合併して大きな病院ができるのでとても安心で、良いと思います。

私は特に茨城を出たいとは思いません。ただ、若い人たちが買い物する場所がないので、洋服とかを買いに行くときは水戸とかに行ってしまう。もっとお店があったらいいなあと思います。

それに、常陸大宮市全体では、飛び抜けてこれと言えものが無いように思います。温泉や川など要素はいろいろあるし、場所も良いと思うので、それをもっと活かして観光を活性化させていければいいのかなあと思います。

あとは、駅前をもっと賑やかにできれば良いと思います。



(長倉 長山 由美子さん 専門学生)



合併して1年というのですが、もう何年も経ったような気がしますね。今までも買い物とか大宮でしていたので、違和感はなく、住所を書くときぐらいで、あとは合併したから

特変わったと言う気もしないです。

ただ、高校とかで友だちになった、他の地域の人と一緒に成人式をあげられるのはうれしいし、合併して良かったかなと思います。

この市には自然がたくさんあって、東京に行っている友達が帰ってきて「落ち着く」とか「空気がおいしい」とよく言っています。そういう自然はやっぱり貴重だし、これからも大事にしていかなければならないと思います。

ただ、交通の不便さは感じるの、車を持っている人は良いけど、そういう人ばかりではないので、誰もがスムーズに行き来ができるシステムを作りたいと思います。

(上小瀬 栗田 寛之さん 会社員)

私は、緒川総合センターの図書館が好きで、よく行きます。やすらぎの里公園のような自然の美しさを活かした施設がもっとあるといいなと思います。

合併して、生活が特に変わったということはありません。でも、今までは防災無線でいろいろな連絡をしてもらえましたが、それがなくなってしまったことが不便だなと感じています。

6月の陸上記録会の時には、市内の全小学校から選手が集まりました。人数が多かったこともあって、私の好きな競技に出場できなかったことが残念でした。と同時に、そのとき、「合併」を実感しました。

緑がたくさんある常陸大宮市がこれから発展していくときに、それが十分残るように考えて、きれいな市であり続けてほしいと思います。



(小瀬小6年 岡崎 ひとみさん)





僕は、県を代表する川が2つも流れているというのがすごいことだと思うし自慢できることだと思います。

看板とかを見て、「御前山」の名前が無くなっているのを見ると

「合併したんだな」と、ちょっと寂しく感じますが、今まで交流の無かった他の中学生と会う機会が増えたので良かったと思っています。僕はテニス部だったんですが、練習や試合での交流がとても増えました。

常陸大宮市は、近代的な部分もあるし自然もたくさんあります。新しいものをつくるだけじゃなくて、歴史的な文化を大切に、自然と共存できるまちになってほしいと思います。それと、人数が少なくて部が成り立たないことがあるので、他の学校の部活に入れたり、近いところの学校に通えるようにしてほしいです。

また、豊かな自然を活かして科学館なんかをつくって、市内にある希少動植物の生態を展示したりしたらいいんじゃないかなと思います。

(御前山中3年 粕谷 太智さん)

中学生の頃に植樹とか体験していたのもあって、地元の自然が私はとても好きです。

自分の中では、合併して特に変わった気はしないんですが、市外の人から「常陸大宮市は～」というような話をされると、みんなはもう市として見ているんだなぁと実感します。また、他地域の友だちとは今まで違う町村という気持ちでいたけど、合併して仲間意識ができた気がします。

今、市では高校を卒業して県外などに出て行ってしまいう人が多いので、みんなが地元に残りたがるような市になってほしいと思います。



休みの日に、買い物だけじゃなくて、地元でもっと楽しめる場所があったら、人が集まるんじゃないかなと思います。

(高部 清水 彩加さん 専門学生)

僕自身は、田舎っていうのはこの地域みたいな所だと思うし、自覚してるつもりではいます。全てを便利にとはいっても、ここは田舎だが道路もだんだん良くなってきているんだから、これを不便と思うか思わないかの差は考え方次第だと思うんですね。広がって那珂川とか大きな河川の堤防沿いとかもあるけど、家ごとごっそり持っていかれるような大きな災害もなく、そういう面では安心して暮らせる場所じゃないかなと思います。

あとはやっぱり医療機関への足がしっかりすれば良いと思いますね。広いですからね。全てが最初からうまくいくのは難しいでしょうけどね。

これから、「自分たちの市」っていう気持ちになるような、市長をはじめ全体を見て、率先して引っ張っていってもらって、周りがついてくるような行政を行ってほしいと思います。

(緒川村商工会青年部長 根本 茂幸さん)



私は、大宮にあるガンマーフィールドは、もっとPRしても良いと思いますね。放射線の研究では全国でも、東海に次いで重要な放射線研究所だということですから。



常陸大宮市には、子どもと大人のふれあいのある社会になってほしいですね。将来を築いていくのは子ども達だと思うんです。ゆとりの教育とか言われて週5日制になったけど、親にはゆとりがなくて、結局親子のふれあいはなかなか無いじゃないですか。今、親から受け継ぐべき伝統とか常識とかを知らない子どもたちが増えてきているし、世間でも子どもの犯罪とかもたくさんある。何よりもまず、親とのふれあいが大事だと思うんです。親にもゆとりが持てるシステムができればいいなぁと思います。

(小祝 廣木 利江子さん 事務員)

やっと1歳になった常陸大宮市。まだまだよちよち歩きの状態です。  
これから、行政と市民が力を出し合って、皆さんが望む、緑豊かな、安心して住みよいまちをつくっていきましょう。  
ご協力をよろしくお願いいたします。